

北海道ワインアカデミーで講義を行いました

北海道では道内でワイン造りに携わる方に対して、栽培・醸造技術及びマーケティングを中心とした経営力のレベルアップにつながるワインアカデミーが開催されています。この度全課程が終了し実施報告パンフレットをいただきました。当社からは土壌分析を実施した上で「受講生の土壌分析から推察されること」、「肥料の特徴と使用方法」について講義を行いました。

第2・3講義

受講生の土壌成分分析から推察されること

北海道大学大学院農学研究院 講師 柏木 淳一 氏
(株)丹波屋 倶知安支店 肥料課 課長 峯岸 道有 氏
(株)丹波屋 技術部栽培課 課長 山影 悟史 氏
富良野市ぶどう果樹研究所 製造課長 高橋 克幸 氏



各受講生が自らの畑において、生育の良い場所と悪い場所の2カ所から採取した土壌サンプルについて、事前に理化学分析を行った。講義では受講生からのサンプルについての簡単な状況説明に沿って、分析結果に基づいた専門家の視点から解説があった。ブドウ畑としての適正な土壌理化学性、地点間での土壌の違いやその要因について理解し、土壌改良や施肥計画、土壌に対応した栽培上の留意点などについて、客観的なアドバイスを得ることができた。

第4講義

肥料の特徴と使用方法

(株)丹波屋 技術部栽培課 課長 山影 悟史 氏



ブドウの成長に必要な養分を補う肥料とその使用方法について解説いただいた。まず、肥料の分類とそれぞれの特性や働き、施肥の方法について概要説明があった。続いて、土壌診断の見方とどのように施肥設計を行うか、特に重要なポイントとなるpHの矯正の仕組みと石灰資材の投与量、pHとCEC、塩基飽和度の関係についての解説があった。加えて、窒素、リン酸、カリの施肥における注意点についてもお話しいただいた。